



ここ
飛驒の山奥にも
黒風党と名のる
野武士の一団が
きびしい「掟」を守って
生息していた.....

ながい戦乱は
関が原の合戦以来
終わりを告げ
天下は、まったく
徳川の治むるところと
なつたころ.....
かつては戦野に
その勇猛を誇つた
兵法者の群れは
今は、ほとんどが
全国各所において
野武士となり果て
荒れまわつていた
.....





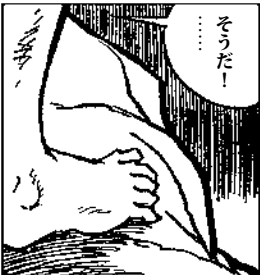


シシ丸としの「掟」は
ことし十五才になって
おれたち男の子が
ここから谷底まで
カゴでおろされる

そして おれたちが
谷底についたら
カゴはひきあげられて
あとは自分の力で
このガケをのぼるんだ



シシ丸
さまは
あした
この
谷底から
ここまで
のぼって
こなくちゃ
ならない
のね



そうだ！



もし……
もしだれかが
手助けしよう
としたら
どうなら
の？



のぼっているあいだ
親兄弟でも
手助けすることは
できない

ひとり
ここで
のぼりきつたら
一人前の
野武士として
認められる
んだ！



これも
「掟」さ



まあっ
ひどい！！



そのときは
「掟」をやぶった
はじしらずとして
助けた者も
助けられた者も
両手首を
切り
おとされる
んだ



こわい！
シシ丸
さま



だいじょう
ぶだよ
おれに
つかまっ
て
れば



谷底まで
どのくらい
あるの？



兄者おに
いさんの
話では
六十丈
(約二百
メートル)
あるそうだ



